

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	地域福祉を大切に考え、小・中・高等学校との交流など様々な取り組みを行なっている
	内容	事業所理念である「地域とともにある」に基づき地域福祉の拠点を目指して様々な取り組みを行なっている。4月に地域主催の子どもガーデンパーティーに主催者側として事業所を開放して企画の一端を担い、7月には地域中学校と運動交流会を開催、小学校とも活動体験を実施している。11月の園祭りを主催する実行委員会には町会、自治会、婦人部連合会、民生委員・児童委員協議会、青少年対策委員会等関係機関が名を連ねている。また、地域福祉の一環としてボランティアの受け入れが欠かせないとの考えから、毎年延べ1000名規模を受け入れている。
2	タイトル	歯科医師による口腔相談を、毎月実施している
	内容	歯科医師や歯科衛生士による「食事指導計画書」をもとに、摂食指導や相談助言が実施されている。まず摂食・嚥下状態をアセスメントし目標を設定する。そして指導方針ならびに指導内容を個別性に配慮して具体化し支援に結び付けている。職員の内部勉強会、保護者向け摂食嚥下講演会等にも力を入れている。経管栄養や喀痰吸引を必要としている利用者が1名在園しているが、6名の職員が研修を受け登録特定行為事業者として支援している。事業所内のみならず、自宅での生活も見据えた事業所の支援のあり方は評価できる。
3	タイトル	外出の機会を多くもち、地域の一員として生活できるよう支援している
	内容	事業所は、利用者と職員が少人数で出かける個別外出を実施している。それぞれの利用者が必ず年に1回は参加できるように計画的に取り組んでいる。行き先は利用者の希望を優先し、カラオケ、喫茶店、中華街、公園、水族館などさまざま、利用者と職員が少人数で自分の行きたい所へ行き、希望通り自由に楽しいひとときが過ごせるよう支援している。また自治会活動では外に出て清掃活動を行うなど、事業所内で完結せず地域の一員としての活動が多い。利用者が充実感を味わいながら社会参加できるこのような取り組みを高く評価したい。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	さらに明確な個人別育成(研修)計画の作成で、より適切で効果的な人材育成が図られることを期待したい
	内容	人事給与制度・キャリアパスが導入されており、これに基づき職員育成や評価が行なわれている。自己申告書に基づく施設長との個人面接の中で、職員の目標や要望などと合わせ能力向上に関する希望についても話し合われている。事業所として習得させたい技術や知識、研修履歴などを勘案して研修参加の機会を設けている。個人別研修履歴が新たに作成されたので、能力向上に関する本人希望と法人・外部・内部研修計画などを連動させた明確な個人別育成(研修)計画の作成により、さらに適切で効果的な人材育成が図られることを期待したい。
2	タイトル	日中活動の見直しなどで、利用者のできることをさらに増やしていくような試みが期待される
	内容	事業所では、利用者の希望を取り入れた日中活動を行なっているが、より充実した日中活動プログラムを提供することを目的に、本年度より活動プログラム全般を振り返り、職員がプロジェクトチームを立ち上げて検討を始めている。利用者の重度化や高齢化も進むことが予測されるなか、利用者の出来る事を増やしたり、活動方法を変える事も必要である。全職員が全利用者にフレキシブルに対応できるような体制づくりも目指していることから、新しい視点での活動プログラムが期待される。
3	タイトル	適切な温度で食事提供を行なえるような工夫が望まれる
	内容	建物の構造上、1階に厨房、2階に食堂が設置されている。昼食を提供する際は、配膳と利用者の誘導時間に配慮して、きめ細かく行なっている。しかし、ほぼ全員が食堂に集まったときには、食事が冷めてしまう場合がある。事業所では保温性のある食器を利用するなど工夫もしているが、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供できるよう、さらなる工夫と配慮が望まれる。